



Cabinet Office,
Government of Japan

沖縄科学技術大学院大学 (OIST) について

2022年6月

沖縄科学技術大学院大学 (O I S T) について

1. 目的

沖縄において世界最高水準の教育研究を行うことにより、①沖縄の振興と自立的発展、②世界の科学技術の発展に寄与することを目的とする(沖縄科学技術大学院大学学園法(平成21年法律第76号))。

2. 特色

大学院大学の設置主体として学校法人「沖縄科学技術大学院大学学園」を設立。
沖縄振興の観点から国が財政支援を行う(学園法)。

- ・学部の壁のない組織(単一の研究科・専攻)
- ・5年一貫制の博士課程のみ
- ・教育研究は英語で行い、学生・教員の半数以上は外国人。



(期待される沖縄振興への効果)

- ・科学技術の国際的な拠点の形成
- ・イノベーション・エコシステムの形成
- ・科学技術に関する人材の育成等

3. 取組状況

※肩書、人数はOISTのHPより

○平成23年11月に学校法人を設立(大学院大学は平成24年9月に開学)。

(学園の理事等)

理事長/学長: ピーター・グルース(前マックス・プランク学術振興協会会長)

非常勤理事(15名): ノーベル賞受賞者等の科学者、沖縄振興や大学経営に係る有識者等 (R4.4時点)



ピーター・グルース学長



キャンパス外観(令和元年12月)

○教員89名(うち外国人64%)を含め、計570名(うち外国人57%)が研究に従事 (R4.5時点)。

(物理学、化学、神経科学、海洋科学(海洋気候変動含む)、環境・生態学、数学・計算科学、分子・細胞・発生生物学、工学・応用科学の8分野を基礎とする先端的・学際的な研究)

○学生242名(うち外国人81%)で、累積で93名が卒業 (R4.5時点)。

○教員の評価は、採用時及び原則5年ごとに、外部の評価委員会により世界的に高いレベルの基準で実施。

○平成22年3月に第1研究棟、平成24年6月に第2研究棟、平成27年6月に第3研究棟、令和2年4月に第4研究棟を供用開始。また、現在、第5研究棟を整備中(平成30年度~令和4年度の予定)。

OISTキャンパス全景



講堂の様子 (令和4年5月22日 OIST設立10周年式典)



OISTの主な会議設備

OISTメインキャンパス

<講堂>

- ・500名収容
- ・利用料 75,000円/終日

<シドニー・ブレナー レクチャーシアター>

- ・150名収容
- ・利用料 10,000円/終日



- ### <ミーティング・ルーム>
- ・130名収容
 - ・利用料 10,000円/終日

OISTシーサイドキャンパス



<セミナールーム>

- ・65名収容
- ・利用料
5,000円/終日



<ちゅらホール>

- ・65名収容
- ・利用料
5,000円/終日